

社会福祉法人 駿河厚生会だより

# こ と ぶ き

第75号

発行／社会福祉法人 駿河厚生会

〒410-0022 静岡県沼津市大岡3571-1

TEL(055)926-8500

沼津フジビューホーム

TEL(055)926-8500

フジビューホームヘルプサービス

TEL(055)926-8501

沼津フジビューデイサービスセンター

TEL(055)926-8502

大岡居宅介護支援事務所

TEL(055)939-6701

かどいけ地域包括支援センター

TEL(055)939-6700

ケアハウス沼津グリーンヒル

TEL(055)926-8503

ケアハウス岡宮グリーンヒル

TEL(055)928-6811

丘の上保育園 TEL(055)941-5731

柏葉尾苑 TEL(055)955-8777





令和5年度決算書における財務分析と、  
門地地区連合自治会とのパートナーシップ  
協定締結に関する報告について

駿河厚生会 理事長

沼津フジビューホーム

柏葉尾苑・施設長  
河野義文

皆様、日頃より大変お世話になり、  
ありがとうございます。心より感謝  
申し上げます。

さて昨今の世界的な経済環境の変化で、急激な諸物価の高騰は、社会福祉法人の経営状況にも影響しています。例外なく当法人においても、厳しい経営環境下に曝されていますが、介護の質を上げ、各種加算を取得することで

収益増に、また計画的に経費を支出したり、無駄を省いて節約に努めたりすることで、健全経営を保っています。下記の表のとおり、5年度決算について、財務分析指標を情報開示しています。参考までに当広報誌の18・19ページに掲載の5年度決算書も、ご覧いただけると解りやすいかと思います。

法人全体の経常増減差額は2・3%、事業活動資金収支差額は7・3%と、5年度はそれほど安定した財務で、ほ

●令和5年度上半期決算 社会福祉法人駿河厚生会 財務分析指標 (自 令和05年4月1日 至 令和6年9月30日)

	全事業	本部	アジア ・ホーム	スタート ・スライ	札幌 (新設)	アジア ・タイ	認知 ・タイ	ホーム ・ヘルプ	屋宅 ・支援	包括 ・養育	包括 ・支援	沼津 ・GH	岡宮 ・GH	岡山 ・GH	保育園	事務 ・センター
収益性																
経常増減 差率(%)	2.3	0.0	4.9	△2.5	△5.4	△10.3	5.3	17.9	2.6	1.1	△0.1	3.6	4.5	12.2	3.8	7.1
費用																
人件費比率 (%)	64.1	0.0	61.8	62.8	65.4	72.3	75.5	74.1	85.4	47.8	73.7	38.8	63.5	62.9	71.0	28.5
事業費比率 (%)	14.0	0.0	16.7	19.1	15.0	16.6	8.9	1.4	2.7	2.3	3.5	24.4	13.8	9.0	7.9	55.0
事務費比率 (%)	14.6	0.0	13.5	17	11.6	18.0	9.6	6.2	8.6	48.8	20.5	26.4	14.8	12.7	11.6	9.5
減価償却比率 (%)	9.9	0.0	10.7	4.0	19.4	8.4	4.4	0.3	0.7	0.0	2.5	19.6	7.1	3.8	8.8	0.0
長期持続性																
事業元設備投資 率(%)	7.3	△101.3	8.0	1.3	10.5	△6.5	6.1	18.3	4.5	0.5	2.6	11.0	6.4	14.5	9.4	7.1

順調な経営状況で推移致しました。

6年度は、門池地区連合自治会の要請により、4月1日付で門池地区連合自治会と社会福祉法人駿河厚生会が、地域福祉の増進を目的とした相互協力を図るため、パートナーシップ協定を締結いたしました。内容は、以下の通りとなります。

1. 地域福祉の増進のため相互協力に  
関すること。

2. 地域子育て支援活動の連携協力に  
関すること。

3. 地域の高齢者福祉活動の連携協力に關すること。

4. 災害時の要配慮者等の救出救護のための相互協力に関すること。

5. その他両者が必要と認める連携協力に関すること。

当法人は、絵空事にならないように、気を引き締めて、地域のご期待に応えられるように、絶えず相互に協力し合い、努力し続けます。

最後に、ステークホルダー等の関係機関及び関係者の皆様には、健全経営することで安心且つ信頼出来る法人経営を、また利用者様には、笑顔の絶えない施設を目指して、経営致しますことを宣言して、終わりとします。

皆様、今後とも宜しく  
お願い致します。

遊びをつくる  
未来をつくる

丘の上保育園

園長 大川 敦子

子ども達が生きる未来はどのような社会になっているのか

先日参加した研修です。二十年、30年後は人間の活動のかなりの部分がメタバース（仮想空間）上で行われ、現実と仮想の世界の垣根も薄くなることが予想され、仕事も働き方も全く新しく変わっていく時代。そんな未来を生きていく子ども達は自分の頭で考え、人生を切り拓いていくことが大事で、好奇心を持って学び続けることや人と関わりながら新しいことに挑戦していくことが大切。6歳までに友だちと遊ぶこと、実体験が必要、というお話でした。

良い面も弊害もあると思います。だからこそ自分の頭で考え、判断して行動する力が大事なのではないでしょう。子ども達には自分の未来を主人公として生きていってほしいと願っています。園ではそのスタートの乳幼児期に、心身共に健やかな育ちと自立のために必要なことを0歳から5歳まで、それぞれの成長段階でどう育んでいくのかを冊子としてまとめました。

どの年齢でも成長の土台となるの

は、「安心」です。安心できる場だからこそ自分の気持ちや主張を出し、受容してもらったり、葛藤したりしながら自分で考え行動していく力が育っていくのだと思います。

それは人と関わりながら遊ぶことを通して培われていくものではないでしょうか。私たちは、「興味を持ったことや好きなことで存分に遊ぶこと」「友だちと遊ぶことを楽しいと感じること」を十分に体験することとに主眼をおいた保育をしているように考えています。その中で学びへの意欲、豊かな感性、人との関わり方などの社会性の芽を育んでいくことが大切だと思っています。

保育室では今、クラス越えて繰り広げられるコンサート、野菜の切端の水耕栽培、野の花と図鑑のにらめっこ、カラスの巣作り：と、とても楽しそうです。身近な草花や虫などに興味を持って発見と観察の日々。小さなクラスでは、お部屋の環境を工夫しながら、それぞれの子に合わせてゆったりと過ごしています。

子ども達と一緒に遊びを創り、「楽しい」と感じる経験をたくさんすること  
が、その子らしく輝く未来を創っていくのだと信じています。



## 言葉は響き

ケアハウス沼津グリーンヒル

施設長 松下 裕美子

おはよう・こんにちは・さようならと、たった一言交わす言葉から、気持ちの良い空気が漂います。

言葉は響きとなり、現象をつくるものだということを教えられます。

どんな言葉でもそれ特有の音を持つており、その音が響きでありますから、言葉をつぶやく時、たとえそれが他人に聞かせるわけではなく、自分一人で言っているだけだとしても、言葉を細胞が聞き、各器官が聞き、その言葉の振動エネルギーの作用を受けると、その影響は自分を通して、そのことの意味を外界に現すべくさまざまな変化を起こし、物事を揺るがし、言葉のとおり再現するように動いていくのです。

ですから、現実化したくない言葉は口にするのを避けて、気持ちの良い言葉を言うように心がけていきたいものです。

最近、施設では、入居者様同士の百人一首の会が始まりました。

詠み手の奥深いそして美しい和歌は、作者独自の感性が表現された日本語の持つリズムの美しさや、日本人が紡ぎ続けた言葉の記憶が、時を

超え、今なお鮮烈に、見事な感性の集積として引き継がれています。

胸中に切なく沁み渡る言語の描写に感嘆し、しばしいにしえを偲ぶ感慨に浸ります。

年齢を重ねていくと、人は誰でも老化します。物忘れや記憶力の低下よりも感情の老化の方が先に起こるようです。脳は初めに前頭葉から委縮していきます。前頭葉は思考や判断などを司るところです。感情が老化すると意欲が低下し、頭や体を使うことが億劫になります。心身脳の動きが低下すると、みるみる衰えて廃用症候群と呼ばれる機能不全状態に陥ることもあります。

こうした老化を予防するには、できるだけ頭や体を使い続けることです。筋肉はよく使っていると日々太くなり強さが増し、脳の神経細胞も太陽の光を浴び、よく考え感じ続けると活動し続けるのです。

人は五感をなるべく働かせ、みずみずしく保って身体を萎ませないことが、健康維持につながります。

ご自身への前向きな言葉を用意して、諸事関心をもち、よどみなく、人生を心豊かに、健康で幸福な日々を送ってほしいと願います。



## 令和六年度の取り組み

ケアハウス岡宮グリーンヒル

施設長 山本 潔

前年度の新型コロナウイルス感染症のケアハウス岡宮グリーンヒルでの感染者は、13人になりました。しかしながら幸いにもいずれも軽症で回復することができました。これは、従事した職員とバックアップしてくれた岡クリニックの先生方の尽力のお陰だと感謝しております。

また、昨年度は、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に沿って、前年度から取り組んできた看取りに関するパンフレットを完成させ、配布しました。厚労省がすすめる「人生会議」の「岡宮グリーンヒル版」として、「ライフサポート会議」を毎月定期的に開催するようにしました。前年度に策定した業務継続計画については、停電時の照明用ランプや簡易トイレなどの備蓄品の購入や、非常発電設備の燃料が施設建設当時のものを使用していたため、新しいものに入れ替えるなど少しずつ対策を進めています。今年度は、頭上訓練や職員研修を実施することを通

じて、計画をより実効性のあるものになるよう、取り組む事にしています。

また、今年4月には、三年に一度の介護報酬の改定が行われ、介護職員等の処遇改善制度の統合化や、質の高いケアを提供しながら職員の負担を軽減する目的で、介護ロボットやICTなどのテクノロジーを活用して、介護現場の生産性を向上させる仕組みも導入され、当法人もこれに取り組む方針が理事長から示されました。岡宮グリーンヒルでは一部の居室にしか導入されていなかった眠りスキャンを全居室に導入し、未導入のインカム（イヤフォンとマイクの付いた相互通信のできる無線装置）を導入して、職員同士の同時通話ができるようにすることにより、職員間のスムーズなコミュニケーションができるよう図ります。

医療機関との連携の強化も今回の改定で求められており、改正された「運営基準」と「医療連携加算」の要件に適合するよう、当施設の協力医療機関との協定内容を見直して、一層の連携強化を図ります。





特別養護老人ホーム

沼津フジビューホーム

令和6年度介護報酬改定に  
おける施設の取組みについて

主任生活相談員 高橋 智恵子

令和6年4月より、医療と介護の同時報酬改定がありました。

さてこの度の改定により変わっただ点についてお話ししたいと思います。まず、①生産性向上推進体制加算という新しい加算が加わります。

これは、生産年齢人口の減少する中、介護需要が増大してきたため、介護人材の確保が喫緊の課題となっており、介護職員の処遇改善が進められていること、介護ロボットやICT等のテクノロジー導入により利用者の安全並びに介護サービスの質の確保を行うこと、データを厚生労働省に送ることで改善の状況を可視化し、質の高いサービスに結び付けていくことです。当施設では、記録方法は5年程前よりICT化し、3年前より「眠りSCAN」を段階的に導入しています。これはベッド上での睡眠状況や体動、バイタル等を知らせてくれるシステムです。入所者の眠りを妨げることなく安全な体制を取っていく利点があります。またインカムは、ナースコールと連動し

ています。職員が移動中でも連絡がとれ、知らせがあった入所者様の対応が早くできるという機器です。いずれも入所者様の安全や安心に結びつき、職員の負担も軽減できるシステムです。これらの機器の活用意義は大きいと感じています。

②協力医療機関連携加算では、入所者様の病歴等の情報を共有する会議を定期的に開催して、対応する内容となっています。協力医との連携強化を図ることにより、持病や急変時、看取り介護の対応をスムーズに行えるようにするものです。

③退所時情報提供加算では、入院時に医療機関に対して、入所者様の

心身の状況・生活歴等を提供した場合に算定するものとなっています。以前から情報の共有はしていましたが、この加算では、一回ごとの入院対応について評価されるようになります。今年度からの加算の変更点は以上の3つです。

その他の取組みとしては、口腔ケア管理があり、今年度から口腔ケア委員会を立ち上げました。口腔ケアを充実させることで、食事がしつかり摂れ、誤嚥性肺炎の予防などにもつながります。食べることは楽しみです。いつまでも美味しく楽しく食事を摂れるよう、職員一丸となり取り組んでいきたいと思っています。



医務室より

夏の熱中症対策を万全に

看護課長 木元 聡美

去年の夏は記録的な猛暑が続きましたが、今夏も又、酷暑が続くような心配です。「熱中症」は、気温や室温が高い中で、体温の調節機能が充分働かなくなり体温が急上昇し、様々な症状を引き起こす疾患です。発汗により水分や塩分が失われる「脱水」を伴います。対策として、暑さで汗をかいている時は喉が渇いていなくても水分や塩分をこまめに補給する必要があります。人間は一日に必要な水分の半分を食事から摂取しているので、栄養バランスの良い食事をきちんと摂る事が大切です。また、筋肉は身体の水分を貯めるタンクの役割をしています。日頃から身体を動かして体力作りも心掛けましょう。熱中症の症状（めまい・足が吊る・頭痛・吐き気等）が出た時は、すぐに涼しい場所へ移動して下さい。濡れタオル等で首筋や脇の下を冷やすのも良いでしょう。ポカリスエットやOS-1はご自宅に常備しておきたい飲み物です。運動障害（歩けない等）意識障害、痙攣発作等の症状が出た場合、迷わず救急車の要請をして下さい。日頃から体力の維持・増進を意識して夏を乗り切りましょう。



## 移乗用リフト 導入しました

介護課長 藤森 綾子

令和6年4月に移乗用のリフトが導入されました。当初はまだ、機械に慣れていないため、職員のリフト操作の練習段階でしたが、徐々に使用しはじめており、今後は、大いに活用していくこととなります。介護施設に勤務する職員の大半が腰痛の悩みを抱えていると思われます。実際、過去に腰痛が原因で退職された職員もいました。腰痛がひどくなると、介護の仕事が続けていくことが困難になります。腰痛を抱えている職員本人も辛い思いをしますが、一人の職員が離職してしまうことになり、施設としても大きなダメージを受けます。双方において良いことはありません。「介護職が腰痛になるのは仕方ないこと」とあきらめるのではなく、介護する側もされる側もお互いが幸せでないと介護は続きません。腰痛の緩和、持ち上げない介護の実現をめざし、令和4年度より職員研修の一環として、理学療法士の先生をお招きし、ノーリフティングケアの研修を実施し、今年度で3年めになりました。ベッドから車椅子への移乗介助は日常生活の中でも回数が多く、実際に利用者様の身体を抱える、持ち上げる作業になるので、腰痛になる原因の一つです。

ノーリフティングケアは持ち上げてはいけない介助なので、移乗時に、持ち上げるのではなく滑らせて移動します。うまく滑れるようにスライディングシートやスライディングボードを使用します。スライディングシートやスライディングボードの使用により職員の負担はかなり軽減されました。そして今年度、ついに移乗用のリフトが導入されました。人の力を一切使わず、車椅子からベッドへの移動が可能になります。職員も利用者様も共に無理な力を使うことがなくなり、職員、利用者様ともに幸せな状況が実現します。ただ機械である以上、使い方を間違ってしまうと重大な事故を引き起こす可能性もあるため、使い方をしっかりと勉強し、安全に活用していくことを心がけています。

職員が無理や我慢することなく、利用者様、職員共に笑顔で過ごすことを目指し前進していきたいと思えます。

## 沼津フジビュー ショートステイ

### ショートステイのスタッフに 新メンバー登場

ショートステイリーダー 原 由美

令和6年4月からショートステイを担当するスタッフが異動して加わりました。初めは緊張でいっぱいでしたが、今では元気に明るく活躍してくれています。

最近のご自宅での介護が難しいため施設への入所ができるまでショートステイの利用を希望されるご相談が大変多くなっています。「いつまでも住み慣れた自宅で生活を。」という思いは誰でもあると思います。が、生活スタイルが変化していく現代社会の中で、いつまで介護する生

活が続くのか：体力と気力が持たなくなってきたといった不安や心配を抱かれています。ご家族がいらっしゃることも事実です。

ショートステイは、ご家族様の介護負担の軽減が図れたり、その方の生活リズムを整える役割の他に、施設に入所を申し込まれている方が不安なく入所の日を迎えられるように施設の生活に慣れていただくためのお手伝いも担っていると思っています。

「自分らしい」生活が送れるように個別ケアがとても大切になってきていると実感しています。お一人おひとりのご要望に合わせて関わっていくことの大変さや難しさを感じることもありますが、ご家族に代わり介護させていただけることにやりがいを持って日々がんばっています。

これからも心配りや心配りを忘れないショートステイであり続けたいと思います。





## 沼津フジビュー デイサービスセンター

### デイサービスレイアウト変更

ききよう生活相談員 小池 佳子

今年度は、デイサービスの新たな雰囲気作りをしていこう、すっきりとした印象に変えていこうという目標で、デイサービスフロアのイメージをあれこれと考えてみました。

今までは、一つずつのテーブルに配席していただくことが最もよいのではないかと思っていましたので、テーブルの数が多く、車いすも通りにくく、ごちゃごちゃした感じでした。

職員みんなでいろいろ考えて結果的に金曜日の仕事終わりに配置換えをしました。

月曜日になってご利用者様の反応は、さまざまでした。変更については最初からご理解していただけたとは思いませんでしたが、その場ですぐ受け入れることは、だれでも、すごく大変なことなんだと改めて思いました。ただ、安全性や危険がないようにすることも含めての変更ですので、時間をかけてご理解いただける様と思っています。

今後は、ご利用者様のご意見も参考にしながら、更に工夫していこうと思います。

### 機能訓練外出のすゝめ

さくら生活相談員 廣瀬 麻美

今年は例年より桜の開花が遅く、ききようとさくら合同で企画していた恒例のお花見ウォーキングも当初の予定より一週間遅れのスタートとなりました。愛鷹運動公園や時之栖など、日替わりで行き先を変更しま

した。車窓から桜を見つけたりご利用者様の歌声が聴こえたりして、外出の気分が高まっていくのをひしひしと感じました。行った先では、ベンチでゆっくりお花見を楽しむ方、お土産選びに胸を弾ませている方、桜吹雪の中を存分にお散歩される方など、思い思いの時間を過ごされました。普段デイサービスの中では寡黙な方が、急に多弁になることもあり

一人で自由に外出することが、難しい方にとっては、「外出する」というだけで、自然と笑顔になり、気持ちも明るくなるのだと思います。五感の刺激はもちろんのこと、会話が增え、気分転換にもなります。今年度は外出を増やしていく予定です。現在も次の外出を計画しているところです。皆様の「行ってみたい」「やってみたい」をぜひお聞かせ下さい。





地域密着型介護老人福祉施設

柏葉尾苑

## 目標に向けてのスタート

薔薇ユニットリーダー 服部千夏

介護保険制度が始まり24年が過ぎ、施設の形態は多床室から少人数個室ユニットへ変化し集団的な支援から個別支援へと時代の変化と共に支援方法、生活環境が変わっていきました。柏葉尾苑は「選ばれる施設になる」を目標に薔薇ユニットでは「認知症ケアを通して、利用者様の思いに沿った支援を行う」ことを職員に意識をもってもらい支援に取り組んでいます。単に入浴、排泄、食事提供という生存するための支援ではなく、生活の質を上げる支援の提供に努めることが、ご利用者様の尊厳と個性の尊重に繋がります。静岡県には特養約300件、有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅約250軒合わせて、およそ500以上の高齢者施設があります。

その中でも柏葉尾苑が良いと利用者様に喜ばれ、ご家族から安心と信頼をして頂けるよう努め、柏葉尾苑を選んで頂いたからこそ出会えた人と人との縁を大切にしてくる存在になれるよう気配り、目配り、心配り、温もりは勿論、職員の専門的

な知識、技術の向上を目指していく所存です。

地域密着型施設として地域に根付き認めて頂けるような施設になるようユニットリーダーとして力を尽くしていきたいです。

## はじめまして

紫陽花ユニットリーダー 竹中雅人

今年度4月からユニットリーダーに就任させて頂きました竹中雅人と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

私は令和4年の12月に駿河厚生会に入職し、約3カ月フジビュースーパースセンターに勤務した後、柏葉尾苑に配属となりました。デイサービスは、今まで経験した事がなくとても勉強になりました。

柏葉尾苑は開設から早1年が経ちました。最近では、初年度に出来なかった行事やレクリエーションなどがだんだん出来るようになりユニットケアの良さを存分に活かしたケアの実現に向けて、日々精進しているところです。

今月6月には、浴室に天井走行のリフトが設置されたので、利用者様の入浴時の負担軽減につながり、私達の介助も楽になりました。私達は、利用者様の毎日の生活が私達職員との信頼関係のもとで、幸せなものであることを願って、がんばっていきたいと思います。





# ケアハウス 沼津グリーンヒル

## 運動会を終えて

介護職員 中村有紀子

介護付きケアハウスから異動して約1ヶ月が経ち、入居者様のお名前や様子、日々の生活の流れなどを理解し、入居者様と一緒に働く先輩職員から教わりながらの毎日です。

5月中旬に開催されました運動会に初めて参加しました。参加された20名ほどの入居者様は、紅組と白組に分かれ、玉入れ、大玉送り、じゃんけん大会、職員競技(ハンドテニス)などを楽しみました。怪我無く、入居者様の笑顔を多く見ることができた運動会となり、ケアハウスにおいてのイベントの重要性を再確認しました。

コロナ禍から以前の社会生活に戻りつつある現在、常に感染症と共存する意識を持ち、施設内でのイベントや外出行事を充実させることが、入居者様にとって大切であると感じます。

誰も避けられない加齢から生じる衰え、病气、怪我のリスクを少しでも減らし、出来るだけ長く自立した生活が送れる支援をこのケアハウスで行っていく事が、私たちの大きな役目であると痛感しています。



沼津交響楽団

折紙教室

絵画教室

雑祭り

初詣で

エーデルワイス沼津合唱

クリスマス会

## 五行歌の世界

偉大なる才能

読売新聞掲載作品

入選

清水しずか様

ケアハウス  
朝友人の  
元気な姿を見る  
私の  
小さな幸せ

令和六年四月二十八日



## 厨房便り

### 丘の上保育園

管理栄養士 佐野 美穂子

給食の準備をしていると、時折子どもたちが何かを持ってやってきます。

「これを茹でてください」

そこにあったのは、育てた菜の花や摘んできたふきのとうでした。それらを一度お預かりし、茹でて味付けをしてどうぞと渡します。春の野菜は苦みのあるものが多く、それらを大人は美味しいと感じるのですが、子どもたちはどんな反応をしたのでしょうか？

何気ない日常の一コマも、子どもたちにとっては驚きや発見のひとつです。

「この食べ物を採って給食で食べたことがある」「そらまめの皮をむいたよ。ふかふかで気持ちよかったよ」など、いろいろな食の体験を通して子どもたちが心豊かに成長できるように、給食室からお手伝いをしていきたいと思っています。



### 沼津フジビューホーム 沼津グリーンヒル 柏葉尾苑

管理栄養士 岡本 歩

すっかり夏の陽気となり、蒸し暑さが厳しく感じられるようになりました。

3月から調理工程にセントラルキッチンシステム（以下CK）を導入しました。大きな工場での全体調理のあと、各施設へと運搬され、施設の厨房で再加熱をして仕上げ工程を行います。煮物などは調味液につけられる時間も長くなり、「味がしみて美味しいよ」という声を多く頂いています。また、今まで提供されたことがないメニューも多く今日はどんな食事だろう？と、話の種もつきません。嚥下の難しい方用の柔らかいお食事も、調理師によって固さや味のムラが出来てしまっていました。CKで専門の調理師が行うことで、改善されています。行事食やお誕生日会メニューもあり、おやつにケーキが出たり、お刺身の盛り合わせなども提供できています。手作りおやつでも食に関わり楽しさを持ちながら、「わあ！美味しそう！」という声をこれからも大事にしていきたいです。



### 岡宮グリーンヒル

管理栄養士 陽サヤ子

施設の栄養士の仕事を引き継いで一年が過ぎようとしています。今年に入居の方の入れ替わりも多く、入居される方も九〇歳以上と高齢化が進んでいます。皆様は食事や行事をととても楽しみにされていらっしゃると思います。行事食では、ミキサー食の方も見て楽しめる色彩や見栄えを考慮しました。お正月のケーキバイキングでは、看取り食の方も、ゼリーを召し上がり大変喜ばれていらっしゃるしました。これからの厨房職員と協力して、喜んでいただける食事を提供して行けるよう心掛けていきたいと思っています。



デザートバイキング



ミキサー食

## 献立 メニュー 旬の食卓

### 『蒸しアスパラのヨーグルトソースかけ』

#### 【材料】（2人分）

- ・アスパラガス……………4本
- ・ヨーグルト……………大匙1
- ・マヨネーズ……………小匙1
- ・おろしにんにく……………少々
- ・塩、胡椒……………お好み

#### 【作り方】

- ①アスパラは根元を切り落とし、下1/3部分は皮をむき、半分に切る。
- ②フライパンに水大さじ2、3と塩少々を入れ、アスパラの下部分を入れ火にかける。
- ③水がふつふつとしたら上部分を入れ、蓋をして1分蒸す。
- ④皿にアスパラを盛り、よく混ぜ合わせたソースをかけ、好みで黒胡椒（もしくはチリパウダー）をかける。



#### 〈管理栄養士より〉

アスパラに含まれるアスパラギン酸とヨーグルトのたんぱく質で疲労回復効果が期待できる。アスパラの栄養素は水溶性が多いので、焼くか蒸すのがベスト。ヨーグルトソースは蒸し野菜やサラダのドレッシングにも良いです。



特定施設入居者生活介護

ケアハウス

岡宮グリーンヒル

教室活動で、

入居者様の生活を豊かに

生活相談員 土屋 絵莉香

新型コロナウイルスが流行してから、施設で行う行事やレクリエーション活動は大きな影響を受け、一時は入居者の皆様に、窮屈で退屈な生活を強いてしまうことがありました。令和5年5月には、新型コロナウイルスが5類となり、施設でも少しずつ平常時の活動ができるようになってきました。これからまた、行事や教室、レクリエーション活動を活発に行い、入居者様に楽しく過ごして頂けるように工夫していきます。

現在、岡宮グリーンヒルでは、定期的に行われている教室活動がありますので、ここで紹介させていただきます。

◎書道教室

ボランティアの先生をお招きし、月に2回ご指導頂いています。筆を持つと、入居者様の表情は真剣になり、集中して書かれます。ご自分で書かれた作品に納得がいかず、何度も書き直しをされる方もいらっしゃって、皆様の熱い思いが伝わってきます。

◎脳トレ教室

令和6年3月から新たに始めた教室です。月に2回、施設の職員が先生となり、楽しく頭の体操をして頂くことが目的です。「難しいよ」「全然、分からないよ」と言われながら、皆で鉛筆を走らせ、学生時代を思い出し、隣同士で教え合う姿も見られ、ほほえましい風景です。

◎折り紙教室

月に1回、施設の職員が先生となり行っている教室です。季節をテーマに毎月細かい手作業に挑戦していきます。出来上がった作品に「かわいい!」と表情が和らぎます。作品が完成した時の達成感や四季を感じて頂いています。

◎絵手紙教室

月に1回、先生をお招きし、ご指導頂いています。5月に教室開催50回目を迎えました。第1回目より参加頂いている入居者様もいます。同じ絵を描いていても、色使いが違うだけで描いている人らしさが出るため、お互いに作品を見て楽しんでいきます。

◎刺し子教室

月に1回、裁縫をやりたい方が集まり、刺し子に取り組んでいます。細かい縫い目や針に糸を通すことに苦戦しながらも、黙々と1針1針刺していきます。昨年4月に「1年で終わるかな?」と言いつつ作品を完成した方もいらっしゃいました。

◎編み物教室

月に1回、編み物をやりたい方が集まり、編み物に取り組んでいます。昔、編み物を趣味で行っていた方が多く、得意なことを活かそうということから始まった教室です。マフラーをお孫様に編みプレゼントをされた方もいらっしゃいました。

教室活動を通して、入居者の皆様の生活が楽しく、心が充実したものになるように、これからも元気に活動が続けていきます。





# 岡宮グリーンヒル デイサービス

## やりたいことリスト

生活相談員 佐野 宏枝

長い間、出産・育児休暇と、お休みさせていただきましたが、四月一日付けで復職いたしました。またデイサービスの職員の皆と一緒に、利用者様の笑顔あふれる毎日を送っていききたいと思っています。久しぶりに戻ったデイサービスには、変わらぬ笑顔のご利用者様が迎え入れてくださり、とても嬉しく思いました。

今年は、前年度から引き継いだ「私のやりたいことリスト」を実施していく予定です。中には「昔から通っていたラーメン屋に行く手段がないから、もう一度行きたい。」と、ご自身だけでは出来そうで出来ない夢の実現に、私たち職員が少し手を貸すことで叶えられたらと思います。今年度は、皆様の「やりたいことリスト」をもっと引き出していくように、コミュニケーションを密にしていけることが目標です。

私たち職員は、ご利用者様の他では見せないとおぼろけの笑顔を岡宮グリーンヒルデイサービスで沢山見せていただきたいと思います。大きな声で笑う顔、お腹を抱えて笑

涙を流す顔、いろいろありますが「笑顔」には幸せホルモンが分泌されると言われています。リラックスした状態を心にもたらし、自律神経を安定させます。自律神経が安定すると、血行がよくなるため、緊張でこわばっていた筋肉がほぐれ、内臓にもよい影響を与えてくれるそうです。高齢者が笑顔になることによる効果は、免

疫力アップ・口腔機能向上・認知症予防といったことばかりです。私たち岡宮グリーンヒルデイサービスの職員は、皆様の「やりたいことリスト」の実現を試みて、今後もお利用者様の笑顔を大切にして、楽しい機会を作っていきたいと思っています。



## 医務室より

### 熱中症は真夏だけではない 雨時期も要注意

看護課長 鎌田 美智

梅雨明けから夏場にかけては、湿度と気温が急上昇する季節。高齢者は体温調節能力が低下していることも多く、熱中症をはじめとしたトラブルに見舞われやすくなります。

特に、体に蓄えておける水分量が少なく脱水状態になりやすいため、こまめな水分補給が欠かせません。スムーズな補給のタイミングとして各食事時、食間、入浴後、機能訓練後などの、どが渴いていなくても定期的に水分を摂って頂くようにしています。水分はお茶だけではなくお好みを考えて用意する、水分を摂るのが難しい方へはアイスやゼリー等、水分をたっぷり含んだものを提供するといった工夫もしています。

また、生活習慣の違いからエアコンの風を嫌う方や、加齢に伴いつい多く着込んでしまう方もいて、居室の環境整備や季節に応じた衣類選択のお手伝いが必要なものもあります。気温の上昇、高い湿度と汗による蒸れで皮膚のバリア機能が低下し思わぬ肌トラブルにつながることもあり、着替え・入浴時には、皮膚状態を丁寧に観察するなど予防対策に努め、ジメジメ季節を元気に乗り切り、活動的な夏を迎えて頂きたいと思っています。



# 丘の上保育園

何だろう。

触ってみようかな？

もも組・0才児

保育士 石川 幸子

新しい環境の中で園生活がスタートしました。

かわいい十二名の子どもたちと過ごして三か月が経とうとしています。

初めは、お家の方と離れる際泣いて悲しんでいた子どもたちも、保育者がしっかりと抱きしめ、語り掛けたり一緒に遊んだりする中で、少しずつ信頼関係が築かれていきました。

気になったおもちゃに手を伸ばしてみる子。つかまり立ちをする子。ハイハイでボールを追いかける子など、保育者の膝から離れて遊びだす姿を見て、安心して過ごせるようになったんだと感じます。

0歳児の保育室には、手作りのおもちゃが沢山あります。中でも、感触を楽しむ空間があり、ジップロックに洗濯のりと水、ビーズなどを入れておもちゃを作り、子どもたちが、ぶにぶにと押して楽しんだり、空容器にビーズや豆を入れてマラカスを作り、保育者と一緒にカラカラと振って音を鳴らしたりして遊んでいます。

す。今後も、子ども達の五感を使って、音や感触の楽しさを存分に味わえるよう関わっていきたいと思っています。



## たんぽぽ組さんの様子

たんぽぽ組・1才児

保育士 平井 友梨香

「おはようございます」と、朝お部屋に入ると子どもたちも真似して「おはようございませゅー！」と元気よく挨拶をしてくれたり、「おーい」と手を振ってくれたり、新しい環境に慣れ始めた様子の子どもたちです。

日中は、快適に過ごせる日が続き、虫探しやお花摘みなどに夢中な子どもたちでした。見つけた虫をカゴに入れて観察したり、お花にお水をあげたりしているのを見て「わたしも！」「ぼくも！」と一緒に楽しんでいます。子どもたち同士の関わりも増えてきました。♪バスに乗って♪の歌に合わせて、保育者が、伸ばした足の上に子どもたちを乗せながら歌っているのを見て、子どもたちも足を伸ばし、「のっぺいよー」とお友だちを誘って、「ゴーゴー！」と楽しんでます。このように日々の遊びの中で、それぞれ好きな遊びを見つけ楽しみながら、友達への興味関心が深まっています。

これからも見守りを意識し、友だちと遊びを共有する喜びや楽しさを通して、大人との関わりとは異なる子ども同士の関わりを大切にしていきたいと思っています。





## やりたい！という気持ち

すみれ組・2才児

保育士 若山 穂花

すみれぐみに進級し、環境が変わった不安から泣くことが多かった子どもたち。保育者が一緒に遊んだり、援助を行ったりなど、ひとりひとり丁寧に関わったことで、今では朝保育室の扉を開けると「せんせい！おはよう！」と元気な挨拶をしてくれるようになりました。

2歳児になると、少しずつ身のまわりのことができるようになり、「自分でやりたい！」という自発性が育ってきます。また言葉の発達とも相まって、自分の気持ちを表現できるようにもなってきます。お友だちとトラブルになった時、「どうしたの？」と保育者が聞けば、「これが使いたかったの。」と言うことができたり、「これが嫌い！」と苦手なものを伝えたりすることができるようになります。

今、遊びでも自分でやりたいことを見つけて遊んでいます。いくつかのコーナーにお部屋を分けると、「せんせい！これやりたい！」「あっち行ってもいい？」と自分で選択して楽しむ姿が見られています。そんな子どもたちの「やりたい！」という気持ちを大切にしながら、保育をしていきたいと思っています。



## わくわく・ごきごき！

すずらん組・3才児

保育士 加藤 伽奈

子どもたちは、毎日元気いっぱい戸外遊びを楽しんでいます。色々な物に興味津々！植物や虫を見つけ大喜びです。今は豆に興味があり、グランドになっているガラスノエンドウに夢中です。「中に何が入っているの？」「これって食べられるの？」などと疑問に思ったことがあり、みんなで一つつつ試してみました。そら豆のさや剥きにも挑戦！「パキッて音がする」「くさい」「フワフワ」などと音や匂い、感触を楽しんでいました。絵本に出てくる「そらめくん」が入っていると思っている子もいてほっこりする場面もありました。

ある日、コーヒーを飲んでいると「いい匂い」と子どもたちが集まってきました。コーヒー豆を見せ、これもお豆だよと話をすると「えー！」と驚いた様子。すると、ある男の子が「フライパンで焼くとコーヒーが出来るよ」と。子どもたちは「やってみたい！」と大はしゃぎ。保育園にコーヒー豆があるかみんなで探し始めています。今後どうなっていくでしょうか。楽しみです。これからもみんなでワクワクする日々を過ごしていきたいと思っています。





## 合言葉や友達パワーと共に

ゆり組・4才児

保育士 水野加菜

進級し数カ月が経ちました。ゆり組さんでは、笑う・泣く、怒るなど日々様々な思いが表現されています。

ある日ルールのある遊びを行った時の事です。勝って喜び、負けて悔しがる姿だけでなく、負けた子が拍手をし勝利をたたえたり、チャンピオンになった子の周りに集まり「おめでとう」「すごいじゃん」と、高校の部活のように肩を組み喜びを共感する姿や、負けてしまった子には、そばに駆け付け「次がんばろう」と励ます姿がみられ、自分の事だけでなく友達を思いやる姿に胸が熱くなりました。また、負けるからもうやらないではなく「勝ちたいからまた明日もゲームやりたい!」という発言もあり、これをきっかけにクラス全体が前向きに物事を考えられるといいなと感じました。

嫌な事や苦手な事は誰にでもあるので、少しでも前向きに取り組めるように「大丈夫!一緒にやってみよう」を合言葉にし、時には友達パワーにも助けられながら、この一年間で様々な事に挑戦し、一回りも二回りも成長していけるように保育を考えていきたいと思っています。



## デイサービスの運動会に参加して

ひまわり組・5才児

保育士 土屋良太

ここ数年コロナ禍もあり、なかなか交流が出来ず、参加することの出来ていなかったデイサービスの運動会に、久しぶりにひまわり組が参加させてもらいました。最初は緊張気味な子どもたちでしたが、競技が始まり一緒に勝利に向け戦い出すと、すっかり打解け笑顔で関わる子が多く、子ども達の順応力に驚かされました。

運動会に参加させていただいた日、あまり気が乗らない様子のご利用者様が居たようですが、二人の子が、「一緒に運動会やりましょう!」と声を掛けたところ、「子ども達に言われちゃ行かなきゃな」と、運動会に参加してくれたそうです。誘いに行った男の子は、自分が誘って来てくれた、自分が役に立ったとすごく嬉しそうだったと一緒にいった職員から聞き、私自身も嬉しく思いました。

今回の運動会の交流を通して、子ども達の楽しそうな姿、優しく関わる姿など普段とは違った姿を見ることが出来ました。これからまた皆さんの事で交流を持たせていただき、もっと仲良くなつて、家族の様な関係になれたら嬉しいなと思いました。





## 子育て支援センター 「コスモス」

### 赤ちゃん和妈妈の時間

保育士 古郡 由里子

令和元年に幼児教育・保育の無償化が始まると満三歳から幼稚園に入園するお子さんが増えていきました。その頃から未就園児を対象とする支援センターの年齢利用割合は0・1才が更に増える現状となりました。沼津市の支援センター全体が同じ傾向にあり、対象年齢に合う親子講座、内容の見直しが必要となりました。

コスモスでは赤ちゃん和妈妈の時間を「ハグハグタイム」と名付けて毎月一回実施しています。一年を通して季節の遊びを楽しみながらお子さんの成長を形に残し、親子の思い出を作っていただけようプログラムを準備しています。四月は「子どもの日」をテーマに健やかな成長を願い、お子さんの足形で鯉のぼりの作品を制作して頂きました。新録の5月は近くの公園までお散歩し、遊具やシャボン玉を楽しみました。

「こんなに長い距離初めて歩けました！」と喜ばれるお母さんもいて良い経験となっているようです。又親子同士一緒に過ごす中で繋がりと輪

が広がって欲しいと願っています。今年度も赤ちゃん和妈妈の時間を大切に提供していきたいと思っています。



## 一時預かり保育室 「なでしこ」

### 安心できるお部屋として

保育士 芹澤 久美子

丘の上保育園内の一室に、一時預かり「なでしこ」のお部屋があります。保護者の方の短時間就労や通院、リフレッシュなど様々な事案に対応してお子さんを当施設でお預かりしています。毎年大勢の方の利用や問い合わせがあり、当施設の必要性を感じています。

保護者の方と登園して来る時涙いっぱいのお子さんもいます。ですが、保育者や他のお子さんとの関わりの中で次第に笑顔になり、好きな遊びを見つけて遊び始め、給食や午睡などお迎えまでの時間を過ごしています。戸外遊びでは園児達と一緒にあって砂場でお山を作ったり、おままたごに夢中になったり、草花や小さな虫を探したりと、楽しく過ごせる様に寄り添い、遊びの手助けをしながら見守っています。お子さんの可愛い笑顔が見れたときはとても嬉しく思います。

一日の僅かな時間ではありますが保護者の方やお子さんが安心して通えるお部屋として、安全なお預かりを心掛けていきたいと思っています。





## 大岡居宅介護

### 支援事業所

新体制で頑張ります！

管理者 永田雅也

令和6年度になり、大岡居宅の職員体制ですが、かどいけ包括から、1名異動となり、女性3名、男性2名の計5名の新体制になりました。担当する利用者様も増えますので、事業所内で情報共有を行いながら、皆様の在宅生活を支えられるように職員全員で支援していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

また、今年度は介護保険の法改正があり、居宅支援も変更点がありました。まず、居宅支援は主に要介護の利用者様の支援を担当として、要支援の利用者様は地域包括支援センターから委託を受けて担当していました。今年度の法改正で、居宅介護支援事業所が介護予防支援事業所の指定を受けることが可能となり、要支援の利用者様も直接担当することができるようになりました。大岡居宅も介護予防支援事業所の指定を受けて、今までよりも多くの担当ができるようになりましたので、いつでもご相談ください。

次に感染症や自然災害の影響で、日常業務の継続が困難になることが

予測される際のBCP計画（業務継続計画）が義務付けられました。大岡居宅でも計画書の作成を行いました。私たちの業務で必要なのは、災害などがあっても介護が必要な利用者様に対して、介護サービスが継続できるように調整することです。沼津市でも大雨などの被害が予測されますので、机上訓練なども行って、実際の災害時に適切な支援ができるようにしていきたいと思っています。また、介護だけではなく病院との医療連携や利用者様に関する関係機関と協力しながら支援をしていきます。皆様にご協力をお願いすることもありますが、よろしくお願いいたします。私たちは介護支援専門員として、今回の制度改正をしっかり理解して、利用者様が自宅で安心して生活できるように支援していきたいと思っています。



## かどいけ地域包括

### 支援センター

噛むことは最大の防御なり！

センター長 中世古 彰

令和6年度より介護支援専門員が尾国から古田へ変更となりました。古田を含めた四名で気持ちも新たに活動してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

さて、私たちが毎日行っている「噛む」という行為ですが、これは食物を咀嚼するだけでなく、味覚の発達や表情を豊かにするなどの効果があるのですが、他にも予防の観点で重要な役割を果たしています。今回は、噛むことで得られる効果をご紹介します。

- ① 噛むことが脳への刺激となり脳の血流が増えます。歯が二十本以上ある人に比べて歯がない人の認知症リスクは一・九倍になります。
- ② 歯の喪失により体全体がアンバランスになってしまい、歯が十九本以下の人は二十本以上ある人に比べて転倒のリスクが二・五倍に増えます。
- ③ 噛むことで唾液が増え、唾液に含まれる酵素が食品の発がん性を抑えるため、がん予防につながります。
- ④ 噛まないと早食いになり、満腹感

を感じられず摂取量が増えてしまうため、高血糖や高血圧、脂質異常を招き、生活習慣病や脳血管疾患、心疾患などにつながります。

「よく噛むことで人生が変わる」と言われるほど噛むことは良いことだらけで、睡眠などご紹介した以外にも多くの効果が期待できますので、まずは自分の歯を大切にしてください。例えば自分の歯を失ってしまっても、自分に合った義歯を使って噛むことを続ければ自分の歯で噛むのと同様の効果が得られます。

歯がないと死亡率が高くなるというデータもあり、歯を失うことや歯周病は万病の入口となります。私たちは、口腔機能の維持やケアが重要であると考え、専門家を招いた講座を計画しています。詳細が決まりましたらご案内いたしますので、是非ご参加ください。





## フジビュー ホームヘルプサービス

### 事業所が移転しました。

訪問介護課長 杉山 志津子

訪問介護・介護予防訪問サービスを行っているフジビューホームヘルプサービスの事業所が、六月一日より岡宮に移転しました。かどいけ地域包括支援センター・大岡居宅介護支援事業所と同じ場所になります。これまで隣接地にあった沼津グリーンヒルにて当事業所のサービスを利用されていた方は、今回の移転により「同一建物減算」の対象外となりますので、利用料が変わります。（上記以外の利用者様は、利用料金の変更はありません）。移転先は、車で五分钟左右移動したところになりますが、ヘルパーの活動内容は変わりありません。これまで通りの支援をさせていただきます。

利用者様や家族様から、介護保険制度上の疑問や、在宅で暮らしていく中で、こういう時どうしたらいいの?と質問される事が度々あります。地域高齢者の総合相談や権利擁護・地域の支援体制づくり等々、地域包括ケア実現に向けた中核的な役割をもつ地域包括支援センター、介護保険サービスを受ける要介護者

の在宅介護に関する相談や計画、連絡・調整を総合的に引き受ける介護支援専門員が常駐する居宅介護支援事業所と近くなった事で、様々な業種の方と関わる機会が増え、また他業種との連携も取りやすくなった事で、サービスの質の向上につながると思っています。これからもヘルパー一同、みなさまの在宅生活を陰ながら支えていけるよう努めていきたいと思っています。

しばらくの間、慣れない環境が続きます、電話連絡等ご迷惑をおかけしてしまう事があるかと思いますが、ご協力をお願いいたします。



## 職員研修

### 職員研修の取組みについて

事務課長 小野 ちとせ

当法人では職員の日中の勤務が終了した後、内部研修としてさまざまな研修を実施しています。内部研修は残業時間として行われる事が多いので、良い事と言えない側面もあるかもしれませんが、それでも学ぼうとする多くの職員が参加しています。

介護施設では、様々な職種の職員が働いていて、皆で協力し合ってご利用者様の日常をサポートしていますので、職種を問わず学ぶ機会を作っています。中でも介護技術については、常に新しい情報をキャッチして、ICTやDX化の波に乗り遅れることのないよう学習を続けています。研修は、介護職員のこれまでの経験や技術に加えて、いかに介護中の腰痛やケガを防げるかといった切実な問題を解決するための手段でもあります。また、認知症などの病気について学んで知識を得る場もあります。更に、頑張っている良い仕事があったことを認めるための人事考課研修は、日中の時間帯に組み込んで、年間を通して全職員に参加してもらっています。

中には、外部研修で自分達が学ん

できたことを、他職員に向けて伝達していくという研修を行う職員もいます。同僚として、そのような意欲的な姿勢に心強さを感じます。

保育園は、園児さんたちの成長そのものを見守っていくとても大切な役目を荷負って幅広く学習を続けています。

事務室では、財務・経理に関する研修受講はもちろんですが、介護職員の喀痰吸引研修の準備・資料の整理や、出張費の支払い、年間契約の研修への対応等、職員研修がスムーズに実施できるよう動いています。

法人内の施設・事業所はそれぞれが異なった役割、特色を持っており、互いに協力し合って、より良いケアに繋げていきたいと思っています。





## 社会福祉法人 駿河厚生会 事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位: 円)

勘定科目	当年度決算
サービス活動増減の部	
収益	
介護保険事業収益	871,134,703
老人福祉事業収益	140,846,502
保育事業収益	148,079,699
介護員養成研修事業収益	2,460,000
経常経費寄附金収益	0
その他の収益	0
サービス活動収益計 (1)	1,162,520,904
費用	
人件費	745,608,563
事業費	162,515,602
事務費	169,623,072
利用者負担軽減額	325,273
減価償却費	114,822,852
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 58,825,194
徴収不能額	0
徴収不能引当金繰入	0
その他の費用	0
サービス活動費用計 (2)	1,134,070,168
サービス活動増減差額 (3=1-2)	28,450,736
サービス活動外増減の部	
収益	
借入金利息補助金収益	707,200
受取利息配当金収益	8,780
その他のサービス活動外収益	7,613,731
サービス活動外収益計 (4)	8,329,711
費用	
支払利息	3,630,419
その他のサービス活動外費用	5,876,130
サービス活動外費用計 (5)	9,506,549
サービス活動外増減差額 (6=4-5)	△ 1,176,838
経常増減差額 (7=3+6)	27,273,898
特別増減の部	
収益	
施設整備等補助金収益	27,543,000
固定資産受贈額	0
固定資産売却益	0
その他の特別収益	0
特別収益計 (8)	27,543,000
費用	
基本金組入額	0
固定資産売却損・処分損	4
国庫補助金等特別積立金取崩額 (除却等)	0
国庫補助金等特別積立金積立額	27,543,000
その他の特別損失	0
特別費用計 (9)	27,543,004
特別増減差額 (10=8-9)	△ 4
当期活動増減差額 (11=7+10)	27,273,894
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額 (12)	833,459,804
当期末繰越活動増減差額 (13=11+12)	860,733,698
基本金取崩額 (14)	0
その他の積立金取崩額 (15)	0
その他の積立金積立額 (16)	11,300,000
次期繰越活動増減差額 (17=13+14+15-16)	849,433,698

## 社会福祉法人 駿河厚生会 資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位: 円)

勘定科目	当年度決算
事業活動による収支	
収入	
介護保険事業収入	871,134,703
老人福祉事業収入	152,054,502
保育事業収入	148,079,699
介護員養成研修事業収入	2,460,000
借入金利息補助金収入	707,200
経常経費寄附金収入	0
受取利息配当金収入	8,780
その他の収入	7,613,731
流動資産評価益等による資金増加額	0
事業活動収入計 (1)	1,182,058,615
支出	
人件費支出	740,064,750
事業費支出	176,600,102
事務費支出	168,884,235
利用者負担軽減額	325,273
支払利息支出	3,630,419
その他の支出	5,876,130
流動資産評価損等による資金減少額	0
事業活動支出計 (2)	1,095,380,909
事業活動資金収支差額 (3=1-2)	86,677,706
施設整備等による収支	
収入	
施設整備等補助金収入	27,543,000
設備資金借入金収入	247,000,000
固定資産売却収入	0
施設整備等収入計 (4)	274,543,000
支出	
設備資金借入金元金償還支出	23,246,000
固定資産取得支出	48,104,687
固定資産除却・廃棄支出	0
施設整備等支出計 (5)	71,350,687
施設整備等資金収支差額 (6=4-5)	203,192,313
その他の活動による収支	
収入	
積立資産取崩収入	22,496,500
その他の活動による収入	5,400,000
その他の活動収入計 (7)	27,896,500
支出	
投資有価証券取得支出	0
積立資産支出	31,971,800
その他の活動による支出	4,500,000
その他の活動支出計 (8)	36,471,800
その他の活動資金収支差額 (9=7-8)	△ 8,575,300
予備費支出 (10)	—
当期資金収支差額合計 (11=3+6+9-10)	
前期末支払資金残高 (12)	138,578,084
当期末支払資金残高 (11+12)	419,872,803



## 社会福祉法人 駿河厚生会 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
資産の部		負債の部	
流 動 資 産	489,788,108	流 動 負 債	130,971,986
現 金 預 金	317,745,333	短期運営資金借入金	0
事 業 未 収 金	132,153,509	事 業 未 払 金	25,362,858
未 収 金	588,194	その他の未払金	19,363,882
未 収 補 助 金	37,937,489	1年以内返済予定設備資金借入金	26,920,000
貯 蔵 品	331,750	未 払 費 用	16,546,601
立 替 金	393,810	預 り 金	112,000
前 払 金	308,023	職 員 預 り 金	8,529,964
前 払 費 用	330,000	仮 受 金	0
仮 払 金	0	賞 与 引 当 金	34,136,681
		その他の流動負債	0
固 定 資 産	2,431,320,951	固 定 負 債	407,930,952
基 本 財 産	1,808,269,325	設備資金借入金	336,682,000
土 地	465,536,782	退職給付引当金	3,928,952
建 物	1,342,732,543	長 期 未 払 金	0
その他の固定資産	623,051,626	長 期 預 り 金	67,320,000
土 地	124,462,924	負 債 の 部 合 計	538,902,938
建 物	0		
構 築 物	75,669,772	純資産の部	
機 械 及 び 装 置	19,601,079	基 本 金	350,812,121
車 輦 運 搬 具	6,833,157		
器 具 及 び 備 品	69,702,919	国庫補助金等特別積立金	933,697,860
建 設 仮 勘 定	5,379,000		
権 利	941,773	そ の 他 の 積 立 金	248,262,442
ソ フ ト ウ ェ ア	552,475	人 件 費 積 立 金	39,764,106
投 資 有 価 証 券	10,000	施設整備等積立金	99,300,000
退職給付引当資産	3,928,952	修繕積立金(保措)	4,000,000
長期預り金積立資産	67,320,000	備品等購入積立金(保措)	8,116,947
人件費積立資産	39,764,106	保育所施設・設備整備積立金	42,581,389
施設整備等積立資産	99,300,000	修 繕 積 立 金	54,500,000
修 繕 積 立 資 産	58,500,000		
備品等購入積立資産	8,116,947	次期繰越活動増減差額	849,433,698
保育所施設・設備整備積立資産	42,581,389	(うち当期活動増減差額)	(27,273,894)
長 期 前 払 費 用	387,133		
その他の固定資産	0	純 資 産 の 部 合 計	2,382,206,121
資 産 の 部 合 計	2,921,109,059	負債及び純資産の部合計	2,921,109,059





# フジビュー 研修センター

事務局 稲村隆志

今年度の介護職員初任者研修・日曜コースが6月から開講致しました。15日間の講義演習+自宅学習カリキュラムに、貴重な時間と労力を割いて受講して下さる皆様にとって実りのある研修となるよう、講師・事務局一同、鋭意励んでまいります。

当法人で研修を始めてから10年以上になりますが、受講者の受講動機をお伺いしていますと、実に様々な声をお聞きます。介護の仕事を目指したい、キャリアアップしたい、家族の介護に生かしたい、高齢者との関わり方を学びたい等…

ケアを受ける方、一人ひとり固有の人生に寄り添うことが大切であるように、ケアに携わる皆様、また私達も、一人の人間として尊重されることが大切だと改めて実感します。

介護職員初任者研修は初学者向けの研修ですが、だからこそ、日々介護の現場で働く講師陣にとっても、自身の経験の言語化や伝え方、受講生からの声に、沢山の学びを頂いています。本当にありがたいことです。

少し気の早い話ですが、来年も研修を予定しています。ぜひ気軽にお問い合わせください！

## ケアハウス 沼津グリーンヒル



折り紙教室  
宝船



手芸教室  
タペストリー



折り紙



ぬり絵

## 沼津フジビュー デイサービス センター



折り紙



絵画教室



手芸教室  
辰のキーホルダー



## 世界で たった一つの 作品

## 丘の上保育園



「雨とカエル」 3歳児



「そらまめ」 4歳児



「こいのぼり」 3歳児



あじさい

## ケアハウス 岡宮グリーンヒル



デイサービス



書道



折り紙



「こいのぼり」 4歳児



「〇△□を使った私の顔」 5歳児



「時の記念日」 5歳児

## 令和6年3月～7月の工事報告

駿河厚生会は、施設開設から既に28年目を迎えました。各施設では、老朽化や新規導入による工事が行われました。

沼津フジビューホーム	(6月～7月)
・エレベータ入替え工事	(6月)
・給湯器入替え工事	(6月)
沼津グリーンヒル	(6月)
・空調入替え工事(廊下・脱衣室)	(3月)
柏葉尾苑	(3月)
・自家発電設備設置工事	(3月)
・浴室天井リフト設置工事	(6月)
岡宮グリーンヒル	(6月)
・インカム設置工事	(5月)
・眠りSCAN全室導入工事	(6月)
フジビューホームヘルプサービス	(6月)
・移転に伴う電話更新工事	(6月)

## 編集 後記

木々の緑がどんどん濃くなり、梅雨時であっても、外出しにくくなりますね。この時期には、あやめを観に行かれた方もいらっしゃると思います。「あやめ」「花菖蒲」「かきつばた」の違いをご存知ですか。

あやめは、花弁のものが網目状になっています。かきつばたは、花弁に一本の白い筋が入っています。そして花菖蒲には黄色の筋が入っています。知っていると楽しいですね。これからは、ほおずきや朝顔、ひまわりの時期です。フジビューホームのグリーンコート前には、東日本大震災の復興のシンボル、ひまわりの種を福島から送っていたいただき、植えました。震災は忘れてはならないものです。能登の皆様も、まだまだ大変な生活状況かと思いますが、お元気でいてほしいと思います。